

第3回留学報告書

2024年6月 FOS 2023 安藤 宏紀

1月10日から始まった春タームが5月7日に終了し、今は夏タームです。春タームの終わりが近づくにつれ、気温も上昇し、現在はお昼時に40°Cに迫るようになっておきました。乾燥しているから比較的過ごしやすいと聞いてましたが、どんでもない大嘘です。常時、ドライヤーにあたっている感じです。それでも気候にも Ph.D.生活にも慣れてきたので、留学当初に比べて生活面でストレスを感じることなく充実した生活を過ごせています。改めて、留學生活を支援して頂いている船井情報科学財団様に感謝申し上げます。

春学期の開始前に再度、修了条件を確認したところ17個の授業をとる必要があることが判明しました。なるべく早く授業は取り終えたいので、今学期は4つの授業と1つのセミナーを受講しました。生物統計学の授業を2つと、リスク評価、疫学の授業を受講しました。どの授業も一度、自分で学習した内容と被る部分が多くあり、新しいことを学ぶというよりは復習という側面が大きかったです。それでも、独学のときに曖昧にしていた部分を理解できたりなど履修して正解でした。リスク評価の授業は、グループプロジェクトで、噂で良く聞いたアメリカの授業という感じでした。1年目の秋・春タームで8個の授業をとり、単位取得という面では折り返し地点です。今後は、夏タームにも1つの授業をとり、2年目は3つの授業を秋・春タームでそれぞれ受講する予定です。今のところ、授業の成績も悪くない感じで Epidemiology の Minor degree の取得できそうです。引き続き頑張りたいと思います。

研究に関しては、秋タームに執筆した研究の申請書をもとにグラントに応募しました。結果として\$53,000の研究費を獲得することができました。研究費の申請に関しては、もともと応募する予定のものに条件が満たしていないなどの問題がありましたが、ひとまず良かったです。研究費の獲得はもちろん嬉しいのですが、今回の申請書の作成にあたっては、研究計画の構想から執筆までほぼ全てを自分でやっただけ(注: 指導教官と共同研究者からコメントを貰って、修正はしてます)、自分の研究計画に対して一定の評価が貰えたことがそれ以上に嬉しかったです。この研究申請書は、いつかある comprehensive exam における研究計画に発表にも使ってよいとのこと、未来の自分を助けたかたちにもなりました。ラッキーです。ただ、申請書の Reviewer のうち2人からは好意的な評価を頂いたものの、1人からは”modest”と書かれました。さらに良いより研究計画書を comprehensive exam までに準備していきたいと思っています。

この研究の計画は私が考えたがため、研究の実質的なリーダーは私ということになってます。リーダーなので、指導教官の確認はあるものの、研究費は全ての自分の研究に好きなように使用してよい感じになっています。ひとまず、この研究費に必要な器具や消耗品を購入し、秋学期開始前までには研究の立ち上げをできればと思っています。留學前は、自分で研究費をとってきて自分で研究を立ち上げるというのは、あまり想像していませんでした。学生に自由に研究をさせてくれて嬉しい反面、自分の研究に対する責任を強く感じます。もちろん、指導教官をはじめ共同研究者の方々もサポートしてくれますが、日本のときと違って指導教官に”おんぶにだっこ”というわけにはいきません。気を引き締めていきたいと思っています。

必要な器具が実験室にくるまでは、下水データの解析や感染症数理モデルの研究をしています。前回の報告書で書いた解析は春ターム中に終了して、現在共著者に確認してもらっているので近々サブミットできると期待しています。その他にも準備している論文がありますが、授業があまりない夏タームにできるだけ進めて、次の報告書で報告できるようにしたいところです。

生活に関しては、まず自分の研究デスクをもらいました。私の所属するコースでは、1年目は授業中心ということで、学内に自分専用の机を割り当ててもらう学生は多くいません。それでも頼めば、座席を割り当ててもらえるので、私は春タームに席を貰いました。逆にいえば、自分で言うまで席はくれません。研究机をもらい他の Ph.D.学生と同じ空間にいと、皆の生活リズムをだいたい把握することができます。なんとなく予想はしていましたが、多くの学生は土日と休日はしっかり休みます。もしかしたら家で研究しているのかもしれませんが、大学にはあまり来ません。授業のあまりない夏タームでは、どの学生も遠くまで(それなりの期間)旅行したりと、私の知る日本の博士学生よりもアクティブだなと感じます。気のせい、表情も明るい気がします。良い部分は、どんどん取り入れていきたいです。

今学期から、自分の活動時間を測定しエクセルでデータを集計してみることを始めました。これは、一週間での授業の費やしている時間と研究に割いている時間を記録して、それぞれの時間配分を把握する目的ではじめました。どうしても、授業が多いと研究に割いている時間が少なくなっているのではと、先学期から危惧していたためです。なんとなく感覚的にわかっていることと、客観的な数字をみるでは、私みたいな自分に甘い人間には与える影響は全然違いました。数字をみると、「先週はあまり研究していないから、今週は授業の課題を早く終わらせて、最低 XX 時間は研究をして、なるべく研究を進めよう」と真剣かつ具体的に考えるようになりました。おそらくデータがなければ、「今週も研究も授業も頑張ろう」と考え、あまり研究できなかったでしょう。またデータをとることで、少し ON/OFF の切り替えができようになりました。「今週は、これだけ活動したから、何時間は自由時間をとっても大丈夫」と割り切れるようになりました。もちろん、研究時間や勉強時間は、「量」しか捉えられていないので、しっかり「質」も追及できるようにしていきたいです。なお自由時間に Netflix でみた韓国ドラマ、最高に面白かったです。

ストレス発散の一環として、先学期からジムに通っています。こちらのジムにいくと、遺伝子レベルの違いを痛感します。涼しい顔でベンチプレス 140kg でセットを組んでトレーニングしているやつがゴロゴロいます。みんな、とんでもない胸板です。他の部位の筋肉もすごいです。この人たちには、自分とは根本的に違うと感じてしまいました。こんなフィジカルモンスターがいるなかの、さらにフィジカルモンスターがいるメジャーリーグのトッププレーヤーとして活躍している大谷翔平選手や他の日本人選手、とんでもないです。敬服しました。そういえば、前回の報告書でスプリングキャンプを見にいこうと予定していましたが、日程が近づくにつれて行くのが面倒になり、結局いきませんでした。他の学生みたいに、しっかりアウトドアの活動をしていきたいです。